

所行回 第273号 令和2年1月1日 所沢社協だより「ちゃお!」は、共同募金の配分金を活用しています。 社協だよ



本紙では、 固有の名称を除き

2020年	は認サぇ	ポデビュー	- !! •	•••••	•••••
広がれ!	地域の7	たまり場!	/令和]元年	度C
募らしの	相談事	単研修会 を	を盟保	しまし	.t-1

こんにちは! ボランティアセンターです★ 地域福祉みらいフォーラムを開催します!/

十二支デザインが決定しました!/寄付報告 みなさまの善意 ------ 4

SW★ラボを開催しました/



『認知症サポーター』(略して認サポ)は、何か特別なことをする人ではありません。認知 症を正しく理解し、認知症の方やその家族を地域で見守り、支える人をいいます。講座では、 認知症の基礎知識や対応方法を学びます。

現在、こどもから大人まで多くの方が学んでいます。認知症の理解を深めて、あたたかい 地域づくりにご協力をお願いします。(令和元年12月10日現在、市内22,158人の方が受 講しています。)



事務局:地域福祉推進課

•電話:04-2925-0041 •FAX: 04-2925-3419 • E-mail:0041m@toko-shakyo.or.jp

山口地区では、平成29年度から"たまり場づくり"をテーマ に、山口まちづくり推進協議会地域福祉部会と社協との共催 で住民懇談会を開催し、同部会では、"迷い人声かけ運動"も 行ってきました。

このような地域の取り組みを通して、地域の方と新堀自治 会関係者などが話し合っていく中で、自分たちの地域では高 齢化が特に課題となっていることが見えてきました。そこで、 新堀自治会内に地域高齢者福祉部が開設され、高齢者の居場 所として、「新堀くつろぎサロン」が10月に立ち上がりました。

現在は2ヶ月に一度開催していますが、今後は開催の頻度を 増やして、多くの方に参加してもらえるようになったら良いと スタッフの方が話しています。

> 'コーディオンの伴奏で 楽しく合唱♪



広がっていって

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)とは…個人の困り事を地域の課題として捉え、 様々な関係機関や住民と連携しながら、解決に向けての仕組みづくりをしていく専門職です。

令和元年度 CSW★ラボ (実践報告会)

を開催しました

本会が市内全地区に配置しているコミュニティ・ ソーシャル・ワーカー(以下「CSW」)が、地域の中で 日ごろどのような活動をしているのかを、より多くの 方々に知っていただけるよう、実践報告会を開催しま した。

当日は、各地区の地域づくり協議会や自治連合会 の会長、民生委員・児童委員の方などにお越しいただ き、CSWによる活動発表のあと、地区ごとにグルー プ内で意見交換を行い、地域とCSWが連携していく ことの大切さを再確認することができました。



平成30年度のCSW活動報告書を作成しました。

ホームページからご覧になれます。ぜひ、ご覧ください! http://www.toko-shakyo.or.jp/

暮らしの相談事業研修会を開催しました!

令和元年10月31日、十文字学園女子大学人間生活学部 佐藤 陽 氏をお招 きして、市内社会福祉法人(27法人・47事業所)が実施する「暮らしの相談事 業」の研修会を開催しました。今回の研修では「社会福祉法人が実施する公益 的な取組みとしての役割」「暮らしの相談事業における窓口機能等について」 をテーマに、窓口機能の強化と相談員の資質の向上について学びました。

※「暮らしの相談事業」は、社会福祉法第24条第2項に規定された「地域における公益的 な取組」として、所沢市内社会福祉法人(27法人・47事業所)で共同の無料相談窓口 を設置し開設しています。ここでは、地域住民の日常生活または社会生活上の悩みごと や困りごとの相談をお受けします。



こんにちは! ボランティアセンターです★

まちの協力者が(り)~

地域で取り組まれているたくさんの活動には、実は協力者がたくさんいるんです!

~小中学校でのふくし学習編~

社協には毎年、市内小中学校から「ふくしについて学び たい」といった相談が、多数寄せられます。ふくし学習を 実施する際には、地域のたくさんの方々にご協力をいた だいています。



「目が見えない人の暮 らし」の話をしています。 自分の目が見えなくなっ たらと想像してもらい、ど んな手伝いをしてもらっ たら暮らしやすいかを考 えてもらっています。



「車いすを利用して生活する 人」の話をしています。障がい が特別でないこと、気持ちのバ リアフリーを伝えたいと思って います。興味を持って質問をし てくれたり、話を聞いたりして くれて嬉しいです。

サポーターのみなさん

方への対応方法をわ かりやすく伝えるため、 認知症サポーター養 成講座の中で解説や 寸劇に協力しています



※災害ボランティアセンターとは…災害時に社協が設置し、住民の協力を得ながら運営する臨時のボランティアセンターです。 市内の被災者・被災地の支援のため、災害ボランティア活動を効果的・効率的に行うことを目的としています。

所沢市内で大規模災害が発生した際に「所沢市災害ボランティアセンター」の運営 を支援するボランティアの養成講座を開催します。(市民スタッフは、災害ボランティア センター内での運営補助を行います。)

□ 時 令和2年1月18日(土)10:00~16:30

場 所 所沢市こどもと福祉の未来館 1階 多目的室1・2号、体育館

内容 (1)講義「災害ボランティアと災害ボランティアセンターの役割について」

(2)実践演習「災害ボランティアセンター実地訓練」 対象 市内在住・在勤・在学の20歳以上の方

(受講後に災害ボランティアセンター市民スタッフ として登録していただきます)。

参加費 無料

定員 20名(定員になり次第締切)





|申込み・問い合わせ| 地域福祉推進課 電話:04-2925-0041 FAX:04-2925-3419

地域福祉みらいフォーラムを開催します

Fライ!はじめの

令和2年3月15日(日) 13:00~16:00

所沢市こどもと福祉の未来館 体育館



十文字学園女子大学人間生活学部 人間福祉学科 教授 佐藤

ぜひ、ご参加ください!

30

① ~地域交流~「みんなであそぼっ!」(吾妻地区)

② ステキなつながり発見! 所沢地区の居場所『安心ルーム』(所沢地区)

③ 地域ボランティア 鈴木 真澄 氏

④ 地域福祉サポーター 鈴木 恵子 氏

・所沢市 福祉部 地域福祉センター

・所沢市社会福祉協議会 地域福祉推進課

電話: 04-2922-2115 FAX: 04-2922-2195

電話: 04-2925-0041 FAX: 04-2925-3419



十二支をモチーフにした所沢社協シンボ ルマークのデザイン募集を行ったところ、 多くの方にご応募いただきました。入賞者 は次のとおりです。最優秀賞の大張さんの 作品は、2020年度の「社協会員証」をはじ め、様々な場面で登場する予定です。 お楽しみに!



ご応募いただいたみなさま、 ありがとうございました。





みなさまの善意~

愛の福祉基金への寄付合計 247,416円

【個人】匿名1名様

【企業・団体】株式会社中央管財様・法要殿友の会様・公益財団法人YMCA様・東京西武学館様・所沢婦人クラブ様

社協への寄付合計 143.021円

【個人】羽田 正俊様・杉沢 宏様・足立 圭子様 【企業・団体】株式会社いるま野サービス様・伸びのびところ様・ 公益財団法人シルバー人材センター所沢地区様・匿名2団体様

こども未来基金への寄付合計 100.000円 【個人】匿名1名様

物品寄付

【個人】五嶋 真起様 【企業·団体】所沢理容組合様· JAいるま野所沢女性部様

> (令和元年9月1日~令和元年11月30日受付分) ※本会への寄付は寄付控除の対象となります。 詳しくは、最寄りの税務署にご相談ください。

所沢社協では随時、寄付の受入れを行っています。お気軽にお問い合わせください。

社協だより「ちゃお!」第94号 令和2年1月発行

発行: 社会福祉法人 所沢市社会福祉協議会

住所:〒359-1112

埼玉県所沢市泉町1861-1(所沢市こどもと福祉の未来館3階)

電話:04-2926-8202 FAX:04-2925-3419

ホームページアドレス http://www.toko-shakyo.or.jp/

印刷:望月印刷株式会社

所沢社協だより「ちゃお!」は、 共同募金の配分金を活用しています。

点字版・音訳版もあります

点字版は「花みずき」、音訳版は「そよかぜ」の両 ボランティアグループにご協力頂いております。 ご利用されたい方は、社協までご連絡下さい。

所沢 社協

次回、『ちゃお!』95号の発行は令和2年4月上旬を予定しています。